

平成27年度進行管理・評価シート
恵那市歴史的風致維持向上計画（平成23年3月23日認定）
（最終変更平成28年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成に関する取組みについて	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 岩村城石垣修理事業	3
2 岩村城下町まちなみ保存事業	4
3 岩村城登城道整備事業	5
4 祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)	6
5 歴史的町並み修景整備助成事業	7
6 ポケットパーク整備事業	8
7 道路美装事業	9
8 中山道保存修景整備事業	10
9 案内板設置事業(宿場町大井地区)	11
10 ふるさと文化普及継承事業	12
11 歴史まちづくり推進事業	13
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	14
2 文化財の防災	15
3 文化財の普及・啓発	16
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 (報道等タイトル名)	17
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史・文化に対する住民意識の向上	18

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	19
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
計画実現のための体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

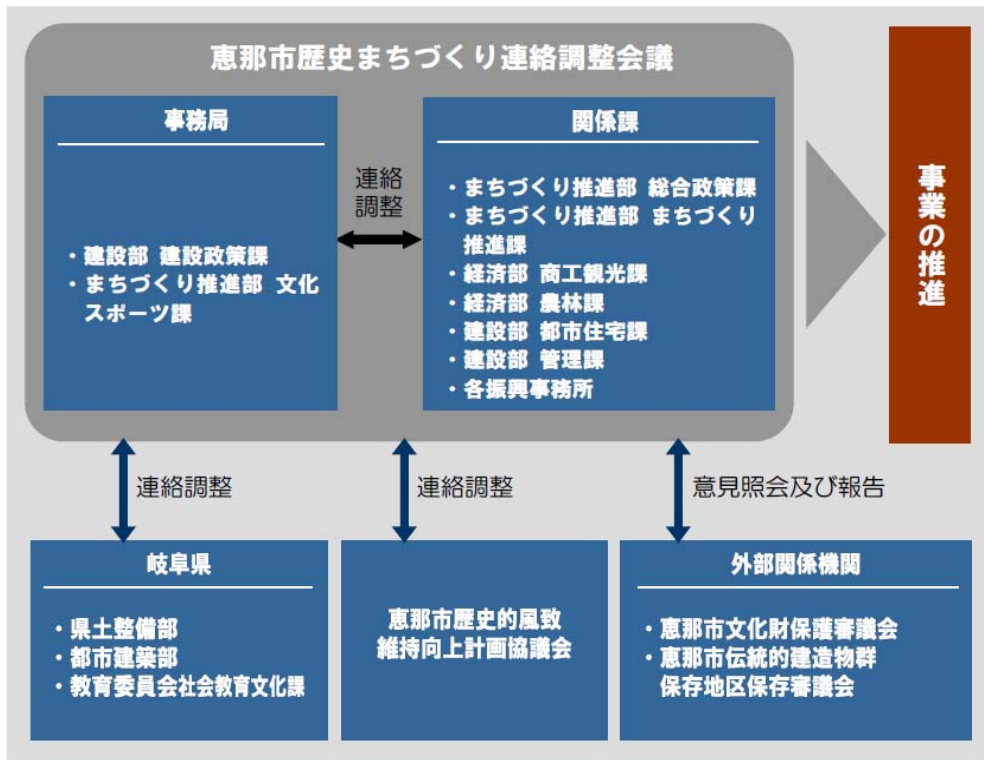
計画に記載している内容 歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐の分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建設政策課・文化スポーツ課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。
 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会については、平成28年3月3日に実施し事業の評価を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■恵那市歴史的風致維持向上計画協議会
 平成28年3月3日開催
 審議事項
 平成27年度 進捗評価について
 計画の変更について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
景観形成に関する取組について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則の施行(平成24年4月1日施行)。内、行為の届出に関するこの規定は、平成24年10月1日から施行した。
 平成27年度の行為の届出件数は、事前協議件数34件、届出件数23件(平成28年2月17日現在)があった。
 平成27年度は景観審議会にて、景観重要建造物・景観重要樹木、について審議を行い、平成27年11月1日に恵那市景観重要建造物3件の指定を行った。
 ・恵那市景観審議会 平成27年8月7日、平成28年2月10日開催
 ・恵那市景観審議会屋外広告物部会 平成27年6月9日開催
 屋外広告物条例の制定に向けて、市民や事業者に対して説明会を実施し意見を聴取した。その後景観審議会へ条例案の諮問・答申を行い、平成28年4月1日から恵那市屋外広告物条例を施行する。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

■景観審議会
 平成27年度
 平成27年8月7日、平成28年2月10日 開催
 審議事項
 景観重要建造物・景観重要樹木について
 屋外広告物条例について



恵那市屋外広告物条例案の諮問・答申の様子

■恵那市景観重要建造物指定
 平成27年11月1日指定
 第1号 日本大正村役場(旧明智町役場)
 第2号 旧市役所飯地事務所庁舎
 第3号 旧飯地公民館(五毛座)



副市長より所有者へ指定標識を交付

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
岩村城石垣修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 主要観光資源誘客強化事業
市単独事業

計画に記載している内容
 標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。
 本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を物語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。
 事業概要：発掘調査の後、崩壊の危険性の高い石垣の修理(対象面積：約300㎡)。石垣支障木の伐採。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で


石垣周辺の支障木の伐採(約200㎡)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

 平成27年実施箇所



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
岩村城下町まちなみ保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成22年度～平成31年度
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金 市単独事業

計画に記載している内容
 重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要：重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物9件の修理修景に助成を行った。
 主な家屋修理内容(主屋の葺き替え、外壁の修理)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
岩村城登城道整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成31年度

支援事業名 主要観光資源誘客強化事業
市単独事業

計画に記載している内容
 ・岩村城への登城道及び付近の修景整備
 ・案内標識の設置
 ・ベンチの設置等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域のボランティアによる、登城道周辺の草刈り・清掃作業に対して、清掃費用の助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

登城道環境整備風景



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 毎年10月第1週の土曜日から日曜日にかけて行なわれる「岩村町秋祭行事」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝のご神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)約1.7kmを練り歩き、景廉が祀られている八幡神社に運ぶ。翌日、神輿は再び行列によって武並神社に帰る。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第から変化しておらず、行列中の御神馬に使用する飾馬具類は、天保の頃のものを使用されていることから傷みが目立っている。祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。
 事業概要: 岩村町秋祭行事の祭礼衣装等の整備。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祭具・衣装の修理については、祭具修理・交換と不足分の補充、衣装修理・交換と不足分補充を行った。また岩村町秋祭行事の行事運営について助成を行った。
 秋祭行事で演じられる岩村町獅子舞の保存活動を行う保存会に対して伝承活動助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

岩村町秋祭り行事の「神輿渡御行列(みこしとぎょぎょうれつ)」
 約380年続く伝統的な行列が練り歩く



秋祭り 神輿渡御行列



地区内の辻々で行う郷土芸能 岩村町獅子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
歴史的町並み修景整備助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成24年度～平成31年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業

計画に記載している内容
 中山道の宿場町としての面影を残す大井宿周辺の建造物等について、所有者等が行う修復・修景事業の一部を助成し、町並み景観の向上を図り、連続性を向上させ歴史的風致の維持及び向上に寄与する。
 事業概要:宿場町大井地区内の大井宿周辺の建造物等について、平成24年度に建造物の悉皆調査とガイドラインの作成を行う。平成25年度から、ガイドラインに沿って、建造物等の修復・修景事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

寄付により市が取得した岩井家(明治天皇大井行在所)の修景について庁内及び地域住民と検討した。ガイドラインの作成、修復修景事業の助成に対する要項については、引き続き作成していく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドラインの作成に関して、住民との合意形成を図りながら慎重に進めていく。

状況を示す写真や資料等

庁内での検討の様子



地元の活用検討委員との話し合いの様子



岩井家(明治天皇大井行在所)の現在の外観

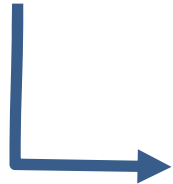


評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
ポケットパーク整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、ポケットパークとして整備する。このことにより、町並みの連続性を生み出すとともに、トイレやベンチ、案内板を設置することにより、来訪者や地域住民の利便性の向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図る。 事業概要:宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、来訪者や住民にわかりやすい総合案内板と利便性を向上させるためベンチやトイレを設置したポケットパークを整備する。また町並みの景観に配慮した植栽などについて検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
来訪者の利便性を向上させるため、展望の良い場所の空き地にトイレ・ベンチ・休憩スペースを設置したポケットパークを整備した。 大井宿ポケットパーク:H26 整備方針の検討 H27 地域住民との協議 上宿ポケットパーク :H26 土地の取得 H27 整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
道路美装事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)
市単独事業

計画に記載している内容
 宿場町大井地区内の中山道は、石畳による道路整備や道路美装が行われているが、経年劣化に伴い大変傷みが進んでいるため、建造物の修景と併せて道路美装を行う。このことにより、歴史的町並みの景観の向上を図り、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要: 昭和62年に大井宿内中山道についての石畳化事業が行われた。中山道を石畳化することにより大井宿の特徴である枡形の遺構を明確化するものであったが、枡形全てが石畳化されておらず、中山道がどこであるのか非常に分かりにくい状況である。また石畳についても老朽化しておりアスファルトの埋め込みで補修している箇所がたくさんある状況である。
 中山道を明確化するとともに、来訪者や住民が安全に散策できるようにするため、道路美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

H26 大井宿内の道路修景の基本方針を作成。
 今年度は市外他地区の中山道の整備状況を調べ現地を確認し、これらをもとに庁内で検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	庁内で協議の結果、施工後すぐに舗装をはがすことが無いように上下水道の工事時期と調整をとり実施することとなった。

状況を示す写真や資料等

整備前(現在の状況)



庁内協議の様子



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
中山道保存修景整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、大湫(瑞浪市)以東、藤村・竹折村・久須見村四ツ谷・中野村を経て、美濃十六宿の一つ大井宿に至り、ここより茄子川・千旦林を通り中津川宿を抜ける。この行程中、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。
事業概要:中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区内の中山道及び沿線の利便施設(甚平坂公園、西行苑、深蒼休憩所、四ツ谷集会所)の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の維持管理や活動に対する助成を行った。
中山道沿線の利便施設である甚平坂公園の歩道の修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【中山道岡瀬沢保存会】 甚平坂公園及びトイレの清掃(月2回 延べ96名[4名×24回])、全会員による一斉清掃(年1回)
 【武並地区中山道保存会】 地区内中山道の清掃活動(年2回 延べ66名)
 【中山道西行保存会】 西行苑便所及び周辺の清掃(年3回 延べ40名)
 【中山道四ツ谷地区保存会】 四ツ谷集会所トイレ(一般開放)の清掃・管理(週1回)、草刈り清掃(年2回)



甚平坂公園(修繕前)



甚平坂公園(修繕後)



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
案内板設置事業(宿場町大井地区)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)
市単独事業

計画に記載している内容
 文化財や歴史的建造物等を紹介し、物語性を加えて誘導案内することで、点在する文化財等を有機的に繋げ、来訪者の回遊性を高めて、地区の歴史的風致の情報発信を効果的に行うなど、歴史的風致を生かしたまちづくりを進めることが可能となる。
 またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図り、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要: 設置時期等により、様々なデザインとなっている案内看板について、歴史的な町並みへの景観に配慮し、統一的なデザインで新設・改修する。
 設置にあたっては、来訪者や市民の回遊性を向上させるために、設置位置についても配慮する。

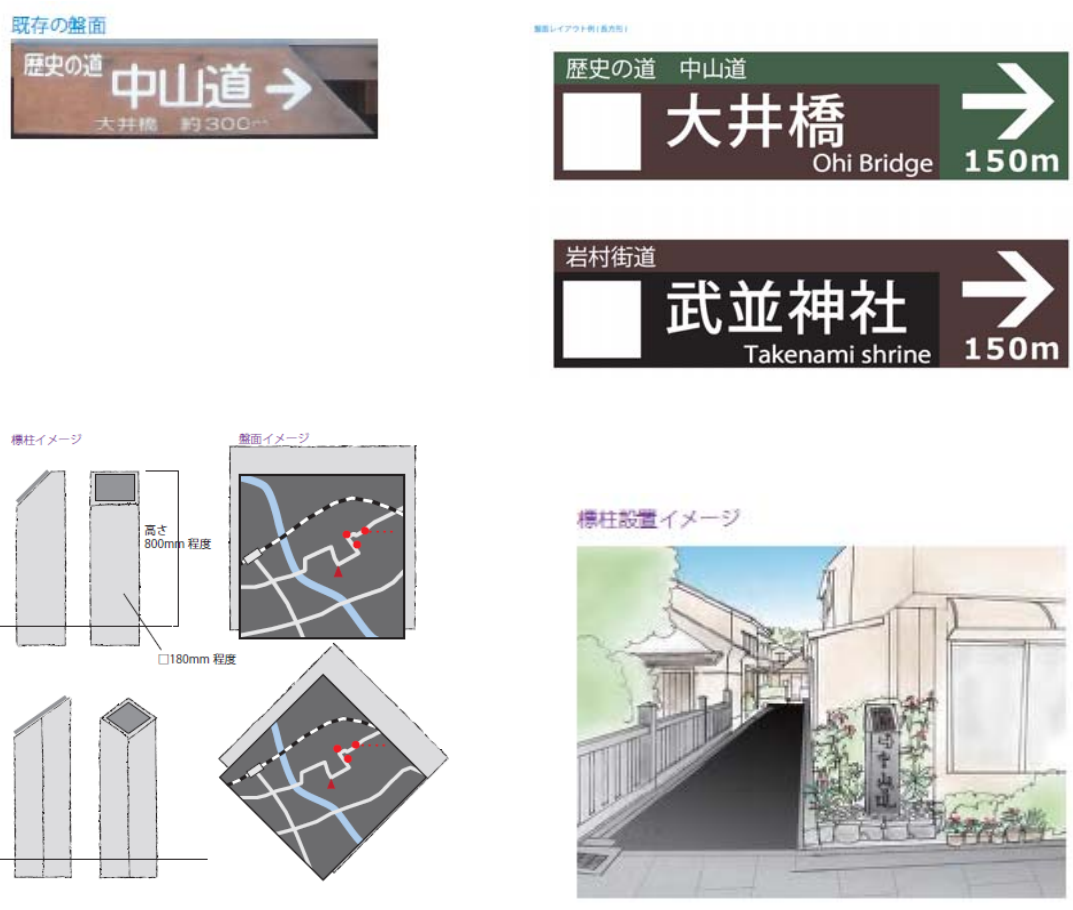
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでの現地調査、検討をもとに平成27年度は基本設計・実施設計を行った。
 H26 現地調査及び検討
 H27 設計

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 設置箇所等について、住民との合意形成を図りながら進めていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
ふるさと文化普及継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。
 事業概要：文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもっていただくとともに、後継者の育成に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

中山道大井宿内の中山道ひし屋資料館で筑前琵琶の演奏会、大井栄舞体験を実施し、伝統芸能に触れる機会を提供した。
 地区内の小学校では、年間を通じた総合学習で地域の伝統芸能(大井文楽)や日本の伝統文化(茶道、琴、太鼓)の体験学習が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 【中山道のれんコンテスト】11/3～11/23 大井町・長島町の中山道沿い 参加者数243名
- 【筑前琵琶演奏会】 10/5 中山道ひし屋資料館 参加者数113名
- 【大井栄舞を体験】 10/18 中山道ひし屋資料館 参加者数41名
- 【大井小学校6年生総合学習「日本の伝統文化を学ぶ」】 参加者数310名
- 【中央図書館 連続講座「大井宿の歩き方」】 8/23、8/30 参加者数61名(33名+28名)
- 【恵那市伝統芸能大会】 2/21 参加者数825名(出演者250名含む)

ひし屋資料館での筑前琵琶演奏会



大井栄舞を体験



大井文楽を学ぶ児童



中山道の各家で、のれんの応募作品を展示



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
歴史まちづくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 地域住民と行政が協力して歴史的な町並みやまちの活性化に繋がる事業を立案、実施することにより、歴史的風致を幅広く、総合的に維持向上していくことができ、またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図ることができる。
 事業概要: 宿場町大井地区を中心に、地域住民からの歴史的風致維持向上のための町並み形成、また地域の活性化に繋がる提案事業について支援を行う。また、必要な調査についても出来るだけ地域住民も参加して行うなど計画段階から地域住民とともに立案していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

明治天皇大井行在所の運営について、運営委員会において検討した。
 また、行在所活用検討委員会と、行在所を中心とした大井宿の歴史、文化を活用したまちづくり、観光について議論を行った。
 所有者の協力を得て、大井宿場内の歴史的建造物である古屋家の調査を実施することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

行在所活用検討委員会 会議写真



古屋家調査の様子



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の修理や整備にあたっては、文化財の種類に応じ、関係法令を遵守し、適正な手続きによる対応をすることとする。また、修理にあたっては史料に基づいた修理を基本とし、周辺の文化財等の整備状況と整合させながら整備を行うものとする。
 一般的な方針は「①恵那市全体に関する事項」のとおりであるが、城下町岩村地区においては、「重要伝統的建造物群保存地区」、「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」、「木村邸」、「岩村城跡」、「岩村町秋祭り」について、順次事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岩村地内の市指定文化財「浄光寺」の保存修理工事を平成26年度に引き続いて行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

浄光寺(修理前)



浄光寺(修理中)



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消化訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。
 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。
 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知機等の設備の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋季全国火災予防運動と「2015いわむら城下おかげまつり」の日程に合わせ、11月1日、岩村本通りで火災予防パレードを行った。パレードには地元自治連合会やまとい会、消防団、中京高校チアリーダー部など9団体から100人以上が参加した。
 平成28年1月に岩村歴史資料館、中山道ひし屋資料館で防火設備の取り扱い説明及び防火訓練を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

11月1日 重要伝統的建造物群保存地区 防火パレード



歴史資料館で防火訓練



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。
 市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成27年度に行った主な行事
 11月 市指定有形文化財改修工事見学会 参加者数30名
 8月22日 第31回岩村城址薪能 来場者数363名、スタッフ等85名
 7月25日他 岩村城清掃活動 参加者数290名(122名+168名)
 毎月 ひし屋資料館お茶会 参加者数164名
 随時 中山道広重美術館特別企画展 来場者数11,613名(春2,708名、秋1,651名、ジュディ・オング7,254名)



岩村城清掃活動に市民ボランティアの他、地元中学校、地元企業が参加。清掃後には、ミニ歴史講座を行った。



ひし屋資料館にある本格的な茶室で作法を学ぶ児童5歳児を対象に毎月実施している



岩村城址薪能 岩村城が舞台の新作能「霸王」を上演能を学ぶ学習会も開催された



改修が進む市指定有形文化財(浄光寺)の現場見学会 施工前と写真で比較しながら説明

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
大井宿を彫る 地元中学生が版画展	H27.5.16	岐阜新聞ほか
江戸の町家が粋な宿屋に 岩村の保存地区に初開業	H27.6.20	朝日新聞
岩村散策 レンタサイクルで快適観光を	H27.7.17	中日新聞ほか
山岡歌舞伎公演 住民熱演	H27.12.8	中日新聞ほか

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線地中化や道路修景により町並みが整備された岩村町で、住民が株主となってまちづくり株式会社が設立され、今年度は周遊エリアを広げるべくレンタサイクル事業を始めた。また、住民が空き家を買取り改修し宿屋を開業するなど、住民が主体となった歴史的風致の維持向上が行われた。
 伝統文化の担い手の育成として、小中学生に積極的に参加してもらい各地域の地歌舞伎の活動が新聞に取り上げられ、広く知ってもらうことが出来た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

ほっと・ホット・もっと
いわむら
 ホットいわむらだより

2015 霜月
CONTENTS
 広報いわむら

発行/城下町ホットいわむら
 〒509-7403 恵那市岩村町 209 番地 4
<http://www.hot-iwamura.com>
 平成 27 年 11 月 13 日発行 No.51

＊(特集)おかげまつり写真館①②
 ＊ミラノ万博出展作品「太陽」お披露目展
 ＊レンタサイクルでゆるり旅開催
 ＊クリスマスイルミネーション

いわむら城下おかげまつり 晴天につき、賑わい最高潮!

賑わう町並み
 これもみんなの
 おかげさま

11月1日(日)、岩村本通りとその周辺で、「2015いわむら城下おかげまつり」が開催されました。当日は、天候も良く、過ごしやすい一日となり、食べ物市の「にぎわい横丁」「まんぶく横丁」には長蛇の列ができあがり、フリーマーケット、軽トラ市、ゆかりの郷市町村の物産市なども盛況で、まつりは大変多くの人で賑わいました。

地元のフリーペーパー「ほっと・ホット・もっと いわむら(通称ホットいわむらだより)」に掲載された「2015いわむら城下おかげまつり」

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成27年度

項目
歴史・文化に対する住民意識の向上

計画に記載している内容 行政の行う歴史講座だけでなく、住民団体やNPOが開催する講演会やシンポジウム等で、歴史・文化を教材とした地域を理解する学習の機会を設けて地域の文化資源の愛着を喚起し、それを活用し、まちづくりに繋がるように住民意識を高めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成27年8月の「恵那市市民意識調査」における結果の中で、歴史・文化に対する現状と、過去1年間に地域のまちづくり活動等に参加したかを尋ねる設問があり、今後も継続的に結果を見ていくことで、歴史まちづくりの効果を経年的に把握する。なお当該設問は、今回の調査で初めて設定されたものである。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

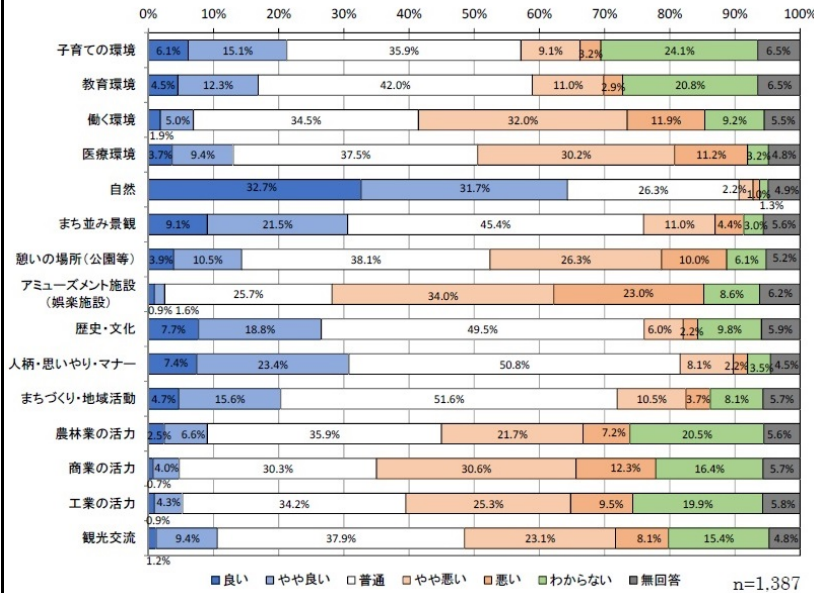
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

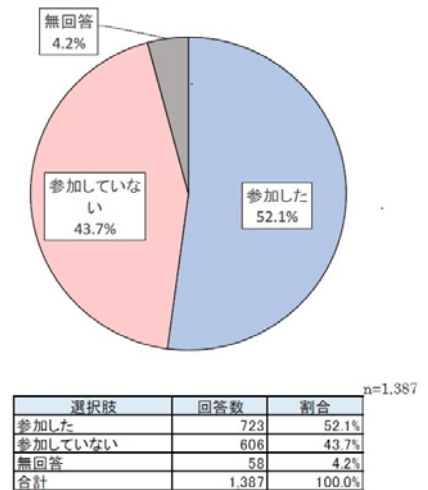
○恵那市市民意識調査 問3「あなたは、今の恵那市の状態を、どのように感じていますか。」
歴史・文化：良い(7.7%) やや良い(18.8%)
地域の文化資源に愛着を感じる人が増えれば、「良い」「やや良い」の割合が増加すると推察される。

○恵那市市民意識調査 問25「あなたは、過去1年間に、地域の町づくり活動やボランティア活動に参加しましたか。」 参加した(52.1%)
参加した割合が増えれば、まちづくりに繋がる住民意識が高まっていることが推察される。

問3



問25



出典：平成27年度 恵那市市民意識調査結果報告書 平成27年8月恵那市

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成28年3月3日	
(コメントの概要)	
<p>これから整備する大井宿内の道路美装や案内看板について、市内外の中山道の連続性・統一性を意識して行う事が必要。</p> <p>岩村町重要伝統建造物保存地区の防災の取組は評価できる。今後もよりいっそう防災の強化に取り組んでいただきたい。また、岩村町の防災計画やハード・ソフト整備のノウハウを大井地区にも継承出来ると良い。</p> <p>大井地区の町並み修景について、景観まちづくり協定または景観重点地区の指定による規制も視野に入れ取り組む必要がある。</p> <p>岩村地区について、歴史的風致を活かしたイベント等により近年来場者が増加し、そのことが空き家の活用に繋がっており、評価できる。さらに活動を活発にし、高めていけると良い。</p> <p>歴史的風致維持向上計画の変更について、事業の追加、事業期間の変更などについて承認された。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>中山道沿線または中山道に関する整備については、重点区域内の仕様の統一に加え、市内・自治体間の連続性を考慮しながら事業を推進する。</p> <p>大井地区の町並み修景について、当該地区の住民と課題を共有し、共に取り組むことで住民の歴史文化に対する意識の高揚を図る。</p>	